

水産業・漁村地域の活性化を目指して ——平成29（2017）年度農林水産祭受賞者事例紹介——

天皇杯受賞

株式会社 ^{たかまさ}高政(代表：^{たかはし}高橋 ^{まさのり}正典 氏)

(宮城県牡鹿郡女川町)

品質の高さが認識されている桃浦地区のカキを原料とした「御膳蒲鉾かき」の製造・販売を行うなど、桃浦地区の生産者を応援し、地元と連携した女川町の復興の担い手としての活躍が期待される。



内閣総理大臣賞受賞

^{りょうり}綾里漁業協同組合青壮年部(代表：^{おおひら}大平 ^{ひでお}秀男 氏)

(岩手県大船渡市)

消費者とのつながりの重要性を再認識し、「綾里漁協食べる通信」を発行するなど、消費者との新しいネットワークを構築。漁村地域における活性化のモデルとして期待される。



日本農林漁業振興会会長賞受賞

株式会社 ^{すぎながかまぼこ}杉永蒲鉾(代表：^{すぎなが}杉永 ^{せいご}生悟 氏)

(長崎県長崎市)

長崎のアジ・イワシを主原料とした、地元消費者が求める昔ながら蒲鉾の味・食感を大切にした「軍艦島の恵み」を開発。また、他の蒲鉾製造業者等と連携し、長崎の蒲鉾のPR活動にも取り組む。

